

令和2年6月15日の面談におけるコメントへの回答

資料1

令和2年6月22日

四国電力株式会社

No.	コメント内容	回答	回答日
1	(32P,24P共通) (ロ)章-Fにおいて、具体的な評価内容（条件、保守性、計算方法）および評価結果の適合性について、記載を充実化すること。	(ロ)章-Fの記載について、具体的な評価内容（条件、保守性、計算方法）および評価結果の適合性について、記載を追記する。	R2/6/22
2	(32P,24P共通) (二)章において、外運搬としての発送前検査と、そのための準備作業等を明確にすること。	(二)章の記載について、外運搬としての発送前検査と、そのための準備作業等を明確になるよう記載を整理する。	R2/6/22
3	(32P,24P共通) (ホ) - 9 ページにおいて、レジンの減損評価にあたっての最高温度を記載しているが、具体的な評価条件を追記すること。	レジンの減損評価にあたっての具体的な評価条件を追記する。	R2/6/22
4	(32P,24P共通) トラニオンの疲労評価において、貯蔵中に想定される負荷等を考慮する必要が無いか検討すること。	貯蔵中は下部トラニオンに静的な負荷のみが作用するため、疲労評価において貯蔵中に想定される負荷を考慮する必要はない。仮に貯蔵中に地震等が発生した場合は、点検を実施し、その結果に応じて必要な措置を講じるため、核燃料輸送物設計承認申請書へ貯蔵中の地震等を考慮した疲労評価に係る内容は記載不要と考えている。	R2/6/22
5	(32P,24P共通) 緩衝体（木材など）の長期健全性に関する評価を追記すること。	(二)章において、緩衝材の充填空間はカバープレートに覆われた閉鎖環境であること、また、緩衝体は常温環境下に保管するため劣化環境にないことから、緩衝材に有意な経年劣化は生じない旨追記する。	R2/6/22